

ミモザ 弦楽四重奏団

第3回定期演奏会



2024 3/10 日

14:00開演 (13:30開場)

～ベートーヴェン至高の傑作

「ラズモフスキー第3番」を堪能する午後～

会場

中板橋 マリーコンツェルト

チケット

全席自由：3,000円

お申し込み

quartetmimosa@gmail.com



企画・主催：ミモザ弦楽四重奏団

program

- マニエルスゾーン：
弦楽四重奏のための4つの小品 Op.81
- モーツァルト：第21番 二長調 K.575 「プロシヤ王第1番」
- ベートーヴェン：第9番 ハ長調 Op.59-3 「ラズモフスキー第3番」
- 弦楽四重奏曲

Mimosa String Quartet Recital vol.3



高橋渚 -2nd Violin

桐朋学園高等学校音楽科卒業、国立ベルリン芸術大学に入学、ディプロム課程を卒業後、ソリストマスター課程に進学し卒業。ドイツベルリンオペラにて2年間アカデミー生として研修を積む。ヴァイオリンを茂木佳子、藤原浜雄、T.トマシェフスキーの各氏に師事。全日本学生音楽コンクール入賞。ドバイ・国際ヤングヴィルトゥオーソコンクール第3位、ベルリン・国際ヒンデミットコンクール第3位受賞。オンディーヌ室内管弦楽団、新ベルリン交響楽団と共演。

前田奈緒 -1st Violin

11歳で渡英。ロンドンでイフrah・ニーマン、パリでミシェル・オークレールのもとで学ぶ。英国王立音楽院ジュニアアカデミー、東京芸術大学附属高校を経て、同大学卒業。大阪国際音楽コンクール第1位、全日本学生音楽コンクール全国大会第1位、日本音楽コンクールファイナリスト。室内楽ではリゾナール室内楽セミナー奨励賞受賞、サントリーホール室内楽アカデミー第1期フェロー。2019年より、文化庁新進芸術家海外研修制度により英国に留学。リチャード・ディーキンのもとで研鑽を積む。芸大フィルハーモニア管弦楽団第1ヴァイオリン奏者。シェリール・トリオ ヴァイオリン奏者。

高橋梓 -Viola

東京芸術大学附属音楽高校、同大学を経て、同大学院音楽研究科修士課程修了。サントリーホール室内楽アカデミー第1・2期で研鑽を積む。ヴィオラを菅沼準二、C.ルローン、大野おおるの各氏に師事。第3回独・クワッケンブリュック国際芸術コンクール第1位、第9回日本演奏家コンクール第1位及び芸術賞、第7回仏・ポルドー国際弦楽四重奏コンクール特別賞受賞。これまでにNHK-FM「名曲リサイタル」、新進演奏家育成プロジェクト、サントリーホール チェンバーミュージック・ガーデン等に出演。これまでに堤剛、若林頭、竹澤恭子、M.ブルネロ、R.バボラク、カルミナ・カルテット、カルテット・エクセルシオと共演。

印田陽介 -Violoncello

東京芸術大学附属音楽高等学校を経て、同大学音楽学部を卒業後渡欧、チェコ・プラハ音楽院に学ぶ。オーケストラとの協奏曲の共演等ソリストとして活動するほか、ヴァイオリニストの姉・印田千裕とのデュオをはじめ、各種室内楽、オーケストラやレコーディング、ライブサポート等、クラシックのジャンルにとらわれない幅広い活動を展開する。認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク アウトリーチセミナー修了。シェリール・トリオ チェロ奏者。小田原室内管弦楽団首席チェロ奏者。アンサンブル・ビーネン、はにかる、直会-nao rai、ハリーのしっぽ等メンバー。

© Ayane Shindo

ミモザ弦楽四重奏団

国内外で室内楽の研鑽を積み2021年に集結。東音企画所属アーティスト(室内楽部門)。2022年5月、丸の内ミュージックフェスエリアコンサートに出演。亀井聖矢、高橋洋太、尾城杏奈の各氏と共演。2023年かもがわ古民家stay & playの会主催地域音楽プロジェクトに参加。公共施設・教育機関でのアウトリーチ活動やオンラインコンサートなど積極的に活動する。

「ミモザ」の名前はミモザの花に由来する。その花言葉は「友情」。

これまで音楽に真摯に向き合う姿を間近に見てきた仲間ならではのアンサンブル、ミモザの小さな花が集まり、樹全体が黄色く染まる様を音楽で創造する決意を込めて。



マリーコンツェルト (東京都板橋区中板橋18-11)

- 東武東上線中板橋駅北口より徒歩3分
- 都営三田線板橋本町駅A3出口より徒歩13分
- 中板橋駅入口バス停より徒歩5分

赤31 (関東バス、国際興業バス) 赤31-2 (国際興業バス) 王78 (都営バス)

※専用の駐車場はございません。近隣のコインパーキングをご利用になるか、公共交通機関でのご来場をお願い致します。

